

嶺南分遣所

消防ポンプ自動車 (CD-1 型)

仕 様 書

## 第1 総則

- 1 この仕様書は、四国中央市（以下、「市」という。）が令和6年度に製造発注する消防ポンプ自動車（CD-1型）（以下、「車両」という。）を製作するにあたり必要な事項を定めるものである。
- 2 車両の製作は、「道路運送車両法」及び「道路運送車両の保安基準」に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。また、消防車両の安全基準検討委員会が定める「消防車両の安全基準について」の要件を満たすこと。
- 3 完成車は、愛媛県陸運支局長の行う新規登録検査合格後に納入すること。なお、新規登録手数料（課税分）は、本車両価格に含むが、新規登録手数料（非課税分）、リサイクル料金、自動車重量税及び自動車損害賠償責任保険に関する費用は別途支払うものとし、本車両価格の中に含まないこと。
- 4 車両に取付ける消防専用無線電話装置等（以下「無線機」という。）は、デジタル無線機に精通した施工業者を選定し市の承認を受け、四国総合通信局への申請から運用開始までの電波法上必要な一切の諸手続き全てを受注者が行い、無線局免許状の交付及び市の検査終了をもって納品とする。ただし、無線機一式は現有車両に取付けているものを移設するものとし、配線、取付部品等の必要な材料は新規製品を使用すること。
- 5 車両に取付ける車両動態管理システム（以下「AVM」という。）は、同システムに精通した施工業者を選定し市の承認を受け、運用開始までの必要な一切のシステム設定及び動作確認全てを受注者が行い、市の検査終了をもって納品する。ただし、AVM一式は現有車両に取付けているものを移設するものとし、配線、取付部品等の必要な材料は新規製品を使用すること。
- 6 受注者は、契約にあたり本仕様書を十分熟知の上、了承し、定めのない細部については、市と協議の上、その指示を受け製作すること。
- 7 受注者は、契約後2週間以内に市と製作等に関する事前協議を実施し、その後、1週間以内に事前協議の議事録を1部提出するものとする。また、製作にあたり市と打合せを行い、製作承認図を作成し、市の承認を得て製作に着手すること。なお、この仕様に基づき一部製作できない場合、又は製作することにより機能が低下する場合は、市に連絡の上、承認又は指示を受けること。
- 8 受注者は、製作承認図を変更する必要がある場合は、市と打合せの上、理由書及び変更図面を提出し、承認を得ること。
- 9 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- 10 受注者は、設計・製作・材料・部品等に関し、メーカーが改良変更を予定している場合、又は変更したときは最新のものを使用すること。なお、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- 11 本仕様書に明記のないものについては、メーカー公表の標準仕様とする。
- 12 製作に使用する全ての部品等は、新品を使用すること。

- 13 本仕様書に記載のないものについても、必要なものは良心的に製作又は取り付けをすること。
- 14 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。実施予定日については、おおむね2週間前までに市に連絡し調整すること。
- (1) 艀装中間検査は、市が適当と判断する時期に受注者製作工場で実施すること。
- (2) 完成検査は、市が適当と判断する時期に実施すること。
- 15 納入関係は、次のとおりとする。
- (1) 納期 令和8年3月25日(水)
- (2) 納入場所 四国中央市中曾根町500番地  
四国中央市消防防災センター
- (3) 所有者の住所 四国中央市三島宮川4丁目6番55号  
氏名 四国中央市長
- (4) 使用の本拠の位置 四国中央市富郷町寒川山463番地4
- 16 保証期間は納入後1年間(塗装、メッキは2年間)とする。ただし、設計、製作、技術及び材料不良に起因した不備欠陥等による場合は、保証期間満了後であっても無償で交換、又は修理を行うこと。また、納入後3年間は無償で点検等の巡回サービスを実施すること。
- 17 納入時には、燃料をタンク容量限界(満タン)まで補給すること。
- 18 納入後、走行距離1,000km又は1か月経過後に点検を行うとともに、エンジンオイル及びオイルエレメント交換を無償で行うこと。
- 19 提出書類は次のものとする。
- (1) 受注者は、契約後に製作承認図として次の書類を3部提出すること。
- ア 製作工程表
- イ 製作承認図  
外観5面図・艀装外観図・ボックス内艀装図・キャブ内艀装図・車体骨格図
- ウ 取付品・取付装置並びに積載品・付属品を明記した書類
- エ ポンプ組立図
- オ ポンプ配管図
- カ 配管系統図
- キ 電気配線図
- ク 重量及び重心位置計算書
- ケ 諸元明細書
- コ その他、市が必要とする図面
- (2) 受注者は、納入時に完成図書として次の書類を2部提出すること。
- ア 製作工程表
- イ 製作承認図

- ウ 工程写真（データ含む）
  - 各製作工程（シャシ、組立中、完成）
  - 完成写真（前面、左右側面、後面、上面）
- エ 計量証明書
- オ ポンプパーツリスト
- カ ポンプ性能試験成績表
- キ 改造自動車計算書
- ク 受託評価合格プレート写し（小型動力ポンプ含む）
- ケ 車両取扱説明書
- コ ポンプ取扱説明書（小型動力ポンプ含む）
- サ 装備品及び付属品の説明書及び保証書（写し含む）
- シ 装備品及び付属品の検査書、検定合格書又は証明書（写し含む）
- ス 外注先一覧表
- セ 積載資器材納入一覧表(住所、電話)
- ソ 自動車検査証
- タ 緊急自動車の指定証及び届出確認証
- チ 納品書及び納品内訳書
- ツ その他、市が必要とする図書（訂正後の承認図等）
- ※ 上記の製作承認図書類、完成図書及び取扱説明書は、エイナーファイル及び図書にあったファイルにそれぞれ分類し綴じること。

## 第2 概要

本車両は、防災、減災を主目的とし、各種火災はもとより、自然災害に至るまで幅広く対応するための装備を有するものとする。

各種火災に対しては、シャシにA-2級の消防ポンプを装備し、消防水利からの給水により2口放水を行うことができ、積載の小型動力ポンプは、河川や谷川から放水を行うことができるものとする。また、急峻な地形を考慮し、電動アシストホースカーにより長距離のホース延長もスムーズにできるものとする。

## 第3 仕様シャシ（寒冷地仕様とする）

### 1 主要諸元

- (1) 型式 : 3 t 級消防専用ダブルキャブオーバー型
- (2) メーカー : 国内メーカー
- (3) 駆動方式 : 四輪駆動方式
- (4) トランスミッション : オートマチックトランスミッション  
(9速デュアルクラッチトランスミッション)
- (5) 使用燃料 : 軽油

- (6) 排気量 : 2,800 cc以上
- (7) 全長 : 6,000 mm以下 (全長は、支障のない限り短くすること。)
- (8) 全幅 : 2,000 mm以下
- (9) 全高 : 2,900 mm以下 (車高は、支障のない限り低くすること。)
- (10) ホイールベース : 2,800 mm以下
- (11) 乗車人員 : 5名以上
- (12) 検定出力 : 100kW 以上
- (13) 動力伝達装置 : 水ポンプ用 P T O
- (14) 制動装置 : ディスクブレーキ ( A B S 付)
- (15) バッテリー : 130E41L 型 2個 (メーカー最大) ※引き出し式
- (16) オルタネーター : 24V-90A 以上 (メーカー最大)
- (17) オイルパンヒーター : キャブタイヤコード 10m付
- (18) タイヤ : オールシーズンラジアルタイヤ
- (19) ホイール : スチールホイール、ホイールキャップ付き
- (20) フロントバンパー : 張出し式、上部アルミ縞板張り (バンパーサイド延長)
- (21) 各種計器
  - ア エンジン油温計
  - イ エンジン回転計
  - ウ エンジン水温計
  - エ エンジン油圧警告灯
  - オ エンジンアワーメーター
  - カ 電流計、電圧計

## 2 装備品

- (1) パワーステアリング
- (2) ドアミラー : 両側電動格納ドアミラー(メッキ仕様)  
助手席補助ミラー (メッキ仕様)
- (3) 後退警報器 : ブザー式又は音声合成式
- (4) チルト装置 : 電動油圧チルト装置 (非常時: 手動チルト)  
※キャブに積載の資器材及び装備品の重量に適したチルト装置とする (別途協議)
- (5) エアコン : 運転席、助手席及び後部座席 (別途協議)
- (6) 各種安全装置 : 制動装置 ( A B S 、 F U P 、 衝突被害軽減ブレーキ装置、  
車両姿勢制御システム、プリクラッシュブレーキ)  
エアバック
- (7) パワーウィンドウ : 全ドア
- (8) ドアロック : 集中式ドアロック
- (9) シート : 全席超防汚シートカバー

- (10) モニター型バックミラー：常時監視カメラ
  - (11) ドライブレコーダー：高画質ドライブレコーダーを前後に取付けること。  
記録媒体 32 GB以上、パソコンで記録映像が再生できること。
  - (12) ヘッドライト：LED
  - (13) フォグランプ：LED
  - (14) 各種灯火類
    - ア 方向指示灯：LED
    - イ 尾灯：LED
    - ウ 後退灯：LED
    - エ 制動灯：LED
    - オ 助手席マップランプ：LED
    - カ エンジンルームランプ：LED
  - (15) サイドバイザー：キャブ各ドア上部
  - (16) メッキグリル
  - (17) メッキミラーカバー：ステイを含む
  - (18) 牽引フック
- 3 シヤシ付属品
- (1) 泥除けゴム：全輪
  - (2) フロアマット：前後席
  - (3) ナンバーフレーム：前後ステンレス
  - (4) オイルジャッキ
  - (5) 車両工具
  - (6) 非常信号灯
  - (7) スペアタイヤ：スチールホイール付き
  - (8) スタッドレスタイヤ：ホイール付き
  - (9) タイヤチェーン：シングル用
  - (10) 三角停止板
  - (11) 牽引ワイヤー
  - (12) 鍵：エンジンキー及びボックス等
  - (13) 大型時計：キャビン内（GPS又は電波式）

#### 第4 車両全体の構造

- 1 車体は、堅牢で十分な強度及び安定度を有し、機動性、耐食性、防水性及び耐久性に優れ、重量バランスに優れたもので、常時登録された車両総重量の状態において、充分耐え得るものであること。

また、車体の主要構造体であるサブフレームは鋼鉄製とし、それ以外の車体フレーム等

- は軽量化を図り総合的な重量軽減を図るとともに、車体の重量バランスにも配慮すること。
- 2 本車両は、山間地域に配備する車両として、可能な限りコンパクトな構造で艤装し悪路走行や急傾斜で狭い路地の進入及び小回りに対応できること。
  - 3 車両キャブは、居住性・乗降性を十分考慮し、計器・スイッチ類は操作しやすい位置に集約して取付けること。また、ステップは昇降しやすいように取付けること。
  - 4 車両に設けるステップ、ブラケット、手すり及び握り棒等の取付け部分には十分な補強を施すこと。
  - 5 各ステップはエプロン付きアルミ縞板で、端末部周辺を折り曲げ加工した構造とし、加工部分の美観に配慮した上で、キャブ後部まで延長すること。
  - 6 ボデーに取り付ける部品の取り付けボルト及びビス類は、全てステンレス製を使用することとし貫通部分で危害を及ぼす部分は袋ナットを使用すること。
  - 7 ボックス部分と側板との接合部分には、パッキン等を用いて有効な防水措置を施すこと。また、コーキング及びシーリング類は弾力性のあるものを使用すること。
  - 8 各種ハンドル、レバー及びスイッチ類には、名称・開閉方向・操作方法等が明確に識別できるようにプレート及びLED灯を取付けること。
  - 9 車両の重要な点検箇所及び主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保すると共に、必要箇所には点検口又は点検扉を設けること。
  - 10 資機材等の積載及び出し入れにより損傷の恐れがある箇所については、アルミ板又はステンレス板を用いて保護すること。
  - 11 取付品及び付属品は、安全確実に積載でき、走行で脱落しないよう強固に取付け、かつ容易に取外しができる堅固な装置を備えること。
  - 12 車両全般の電気回路は、バッテリーメインスイッチを設け、艤装関係の電源も切断する構造とすること。
  - 13 バッテリーの取付けは、点検及び脱着が容易にできるようステップ一体型引き出しレール式とし、引き出した際に支障にならないようコード類の長さは十分な余裕をとること。なお、内部は防水加工を施し、水抜きを設けること。
  - 14 バッテリー充電管理装置を装備し、外部AC100V入力コネクタ（10mコード付）でバッテリー充電器を介して、待機時の車両バッテリー、小型動力ポンプバッテリー及び電動アシストホースカーの充電が行え、パイロットランプで充電の状態が確認できること。マグネットコンセント（防水カバー付）はキャブの適切な位置に設けること。
  - 15 給油口は、給油が容易に行える構造とし、資機材の積載及びその他の支障がない位置に設けること。また、給油口に燃料の種類と容量を表示すること。
  - 16 車両最大牽引能力に耐えうる牽引フック又はステンレス製シャックルを車両前後部に設け、牽引時にワイヤーロープが車両に接触しない構造とすること。（詳細別途協議）
  - 17 市が指定する取付品及び取付装置と積載品及び付属品については、別途打合せの上取付けること。

## 第5 キャブの構造

### 1 キャブの外装

- (1) キャブは、電動式のチルト装置で、故障時は手でチルトできるものとし、必要により落下防止の支え棒等を設けること。
- (2) 消防章を、キャブフロント中央部に台座を設けて取り付けること。また、フロントバンパーは前張出しで足が掛けられる構造とし、上部にアルミ縞板を取り付けるとともに、フロントガラス上部にステンレス製握り棒を設けること。なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (3) てすりはステンレス製とし、キャブ前面に清掃用てすり2か所とキャブ両側面に乗降用てすり4か所を、各種用途の有効な位置に強固に取付けること。
- (4) ドア開放時の反射板（ドアエンドリフレクター）を全ドアに貼付すること。なお、ドア幅全体に貼付すること。
- (5) キャブの乗降口及びフェンダー部にアルミ保護板を設けること。
- (6) 隊員席純正ステップ下部に、幅広のアルミ縞板ステップを設けること。
- (7) フロントグリル、アウトサイドミラー及び補助サイドミラーは、メッキ仕様とすること。左側アウトサイドにはアンダーミラーを増設し、電動格納式とすること。
- (8) 各ドアには、雨天時に有効なサイドバイザーを取付けること。
- (9) エンジンオイルレベルゲージは、キャブチルトしなくても点検できること。なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (10) ナンバー枠を前後に取り付けること。
- (11) キャブ天井部は、堅牢かつフラットで、雨水の滞留及び漏水しない構造とし、隊員数人の荷重に耐えうる強度を有すること。なお、周囲には一段手すりを設けること。

### 2 キャブの内装

- (1) AVM及び無線機一式を適切な位置に取り付けること。（別途協議）
- (2) 電子サイレンアンプ及びスイッチ類（10連スイッチ）等は、センターコンソールボックスに集約し、操作性を考慮した配置とすること。なお、運転席及び助手席操作が主体となるスイッチについては別途配慮すること。（取付け位置は別途協議）
- (3) 電子サイレンアンプは、市指定のもので2スピーカー式とし、出動予告スイッチ・音声合成キャンセルスイッチを各1か所、モーターサイレン音スイッチ・メッセージ（1ch・2ch）各2か所を運転席及び助手席から容易に操作できる位置に設け、電動アシストホースカー、小型動力ポンプの固定解除及び手動式アルミバーシャッターの開放を示す警告灯、無線電源を、10連スイッチ内に設けること。なお、エアバック作動時に支障とならないよう配慮すること。音声合成メッセージについては、現場活動用、火災予防広報用メッセージ入りとする。（別途指示）
- (4) 前席で視認できる位置に、確認ランプ（はしご昇降装置、シャッター、ホースカー、



小型動力ポンプ) を設けること。

- (5) エンジン回転計、エンジン水温計、エンジン油温計、エンジン油圧警告灯、エンジンアワーメータ、デジタル電圧計及び電流計をメーターパネル又はインストルメントパネルに設けること。
- (6) キャブ内前方の適切な位置に、ドライブレコーダーを取付けること。モニター型バックミラーは、ルームミラー部に取付け、車両後方を広角に常時確認できる7インチ以上のカラーモニターで、接続するカメラは昼夜問わず視認可能な高性能品を使用すること。
- (7) キャブ内には、後部座席隊員用のステンレス製手すりパイプを設けること。なお、S字フック（ビニールコーティング付き）を取り付け、走行中の振動等により金属音を発しないようにすること。また、ステンレス製手すりパイプの下方にパンチング板を設けること。（詳細は別途協議）
- (8) ステンレス製手すりパイプ中央付近に、固定式の地図等を収納するボックス（A3サイズ、端部トリムシール付き）を1個取り付けること。（詳細は別途協議）
- (9) 後部座席背部のキャブバックボックスには、パンチングメタルを取付け、幅広マジックバンド空気呼吸器ホルダーを3器設けること。また、面体掛け用フック及び資機材吊り下げフックをそれぞれ3個（合計9個）設けること。
- (10) 後部座席下にシートライザーボックスを設け、左右側面に扉を取り付けること。
- (11) 座席シートには、全て超防汚シートカバー（防水仕様）を施すこと。また、シートベルトは定員数設けるものとし、ドア側4座席は伸縮式3点式ベルトとし、その他は2点式ベルトとすること。なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (12) キャブ屋根上部に取り付ける各電装品は、確実に取り付けるとともに防水処理を施し、ボデー貫通部には専用貫通金具を使用すること。
- (13) キャブ天井部は、断熱処理を施すとともに、各種配線等を露出させない構造とし、電装品及び配線取り付け箇所が容易に点検できる難燃材料の内張を取り付けること。
- (14) キャブ内天井部には、LED式室内灯を設け、必要に応じて運転に支障がないよう遮光措置を施すこと。
- (15) キャブ内天井中央部には、増設棚としてルーフセンターコンソール（下面はパンチングメタルとすること。）設けること。また、携帯拡声器1個及びLED誘導棒2個をキャッチで取付けること。（別途協議）
- (16) 助手席にはLED式マップランプを取付け、後部座席左右天井側面には、小型LED式室内灯を取付けること。
- (17) 2口コンセント（AC100V-1000W）を地図ボックスに取付ける。取付けできない場合は、キャブ内の適切な位置に取付けること。
- (18) 各配線は、色分けしてキャブ内の集合スイッチ盤に結線し、ヒューズボックスを間に設けること。また、同ボックス内には、予備ヒューズを必ず備えること。

- (19) ヒューズボックスは、特別電装品専用とし点検整備に容易な位置に設け、各名称及び容量を表示し、電気機器関係のヒューズ配線図も明確にすること。
- (20) 床面に設置する電装機器については、水損を防止するため、台座等を設け取付けること。
- (21) キャブ内の汚損及び水損を防止するため、ゴム製フロアマットを敷くこと。
- (22) キャブ内フロントガラス上面には、運転に支障となる日照を有効に遮断することができるサンバイザー２枚を取り付けること。

## 第6 ボデーの構造

### 1 ボデーの艤装

- (1) 車体形状は、箱型とし左右側面各1枚・後面1枚、手動バー式アルミシャッターを設け施錠できるようにし、巻取部にシャッター損傷防止策を講じること。また、シャッター一枠にLEDの照明を設け、開放時には夜間照明と連動して点灯すること。なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (2) 坂道勾配を考慮し、アプローチアングル及びデパーチャーアングルを確保すること。
- (3) 左右リアフェンダー後方に資機材収納庫を設け、扉はステップ兼用扉とし内側にアルミ縞板を張り衝撃吸収ダンパーを取り付けること。また、油圧ダンパーによる開放防止措置を施し、かつ、シャッターを閉めることにより開放をロックする構造とする。なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (4) ボデー前方左右側面に、液晶ポンプ操作盤、吐水口、吸水口及び中継口を設けること。なお、夜間活動に支障にならないよう、計器灯を各部に設けること。また、各口の下面はアルミ縞板を張り、使用水が溜まらないように排水等の措置を施すこと。(排水に際しボデー側面を濡らさないこと)
- (5) ポンプ室は、点検整備が容易に行える構造とすること。
- (6) 後面シャッター内は、資機材収納スペース及び電動アシストホースカー積載スペースとし、同ホースカーを電動油圧昇降装置で容易に出し入れができる構造とすること。なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (7) 右面シャッター内は、資機材収納スペース及びB-2級の小型動力ポンプ積載スペースとし、引き出しレールを取り付けること。なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (8) 後輪フェンダー部に展開式フェンダーステップを設けること。
- (9) 車体後方左右側面下部は、各資機材等の収納スペースとすること。(資機材の収納箇所については別途協議)
- (10) 各資機材等の収納スペースは、可動棚(引出装置)及び収納棚を設け、別表に記載の資機材を収納し、機能的に使用できる構造とすること。また、資機材収納スペースは、必要に応じて可動式の棚を設け、ベルト、手すり、資機材収納用アルミボックス等の固定具、樹脂製スノコを設けること。(詳細は別途協議)

- (11) ボデー天井部は、堅牢かつフラットで、雨水の滞留及び漏水しない構造とし、隊員数人の荷重に耐えうる強度を有すること。
- (12) ボデー天井部左側に地上より操作可能なはしご昇降装置を装備し、三連はしご（チタン製）を積載すること。
- (13) ボデー天井部に、アルミ縞板ボックスを積載すること。なお、大きさについては、車両高に配慮し、市と別途協議すること。
- (14) ボデー天井部のアルミ縞板ボックス内に、予備吸管（2 m×4 本）を積載すること。アルミ縞板ボックスに収納できない場合は、予備吸管用の収納スペースを設け、吸管が落下しないよう措置を講ずること。また、予備吸管を保護するカバー（本部名入り）を設けること。（詳細は別途協議）
- (15) 車体後面右側に、展開式の天井昇降用はしごを設け、はしご最上段付近（車体天井後部）にステンレス製一段手すりを設けること。
- (16) はしご昇降装置は、キャブチルトする際に接触しないよう措置を講ずるとともに、安全装置を設けること。なお、記載内容を満たせない場合は、別途協議し市の承認を得ること。
- (17) とび口は、はしご昇降装置に取り付けること。
- (18) フェンダー部は、洗浄の際に泥土の入らない構造とし、泥除けはゴム又は樹脂製とすること。
- (19) 車体左側に、不凍液注入装置を設けること。
- (20) 車体の重要点検箇所及び主要部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保するとともに、必要な箇所には点検口又は点検扉を設けること。
- (21) その他の付属品取り付け位置及び取り付け方法については、市と十分な打合せを行うこと。

## 2 資機材収納ボックス

- (1) 各ボックスは、収納物に応じた大きさを合理的に仕切り、固定金具及びワンタッチベルト等を取付け、走行中の振動でも落下及び移動しない構造とすること。
- (2) 引出装置には、飛び出し防止ロックを左右に取付け、工具を使用することなくロック及び解錠ができること。なお、重量的に耐えうるものであれば、片方のみでも構わない。
- (3) 各ボックスの床面には、必要に応じてすのこ、並びに適切な大きさの水切りを設け、防水加工を施すこと。また、必要に応じて内壁にゴム板を貼り、資機材保護に努めること。（収納資機材に応じて別途協議）
- (4) ボックス内を有効に照らす位置に、LED式ボックス灯を必要数取付けること。スイッチは、キャブ内にメインスイッチを設け、シャッター又は扉の開閉に連動すること。また、配線は、資機材等に干渉することなく体裁よく延長すること。
- (5) その他の積載資機材については、重量バランスを考慮して配置すること。
- (6) 本仕様書に記載されていない事項についても、取扱い上必要と認められる場合には、

別途協議し対応すること。

## 第7 ポンプ装置

### 1 水ポンプ装置

#### (1) 水ポンプ

ア 装置は日本消防検定協会が実施する受託試験に合格すること。

イ 高圧一段ボリュームポンプ又は2段バランスタービンポンプとすること。

ウ ポンプ性能 A-2級

送水圧力 0.85MPa において放水量 2,300L/min 以上

送水圧力 1.40MPa において放水量 1,900L/min 以上

(2) 水ポンプは、シャシエンジンの P T O (パワーテイクオフ) により駆動され、P T O の操作は、運転席及びポンプ室内操作盤に設けられたレバー又はスイッチにより行うものとする。

### 2 真空ポンプ

(1) 真空ポンプは、偏心ロータリー無給油式の4翼以上で真空ポンプ1機の排気量 1、000 cc 以上又はピストン式真空ポンプとすること。

(2) 操作は押ボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止すること。なお、非常用の別系統スイッチを車両両側に設けるものとする。

(3) 真空ポンプは、破損防止のため、自動揚水時エンジン回転が一定回転以上では作動しない構造とすること。

(4) 真空性能は、吸管外端閉塞にて 30 秒以内に大気圧の 84% 以上となること。

### 3 安全機能装置付ポンプ操作装置

(1) 車両にポンプ室を設け、ポンプ室は点検及び手入れ等が容易に行える構造とすること。

(2) ポンプ操作装置は、ポンプ室左右に設け、操作員が容易かつ安全に揚水、ポンプ操作が行えるようにすること。なお、一つの操作盤ですべてが行えるものとする。

(3) 左右ポンプ室液晶ディスプレイ内にポンプ回転計、流量計、積算流量計を設けること。

(4) 圧力計・連成計(リタード式)は振動等でも針振れがない構造とすること。

(5) ポンプスロットルは、電子式スロットルとし、左右とも右回転で上昇、左回転で下降すること。なお、開度を液晶ディスプレイ等に表示すること。

(6) ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設け、非常時には、容易に解除できること。

(7) 多目的表示液晶ディスプレイを操作盤に設け、詳細は次のとおりとすること。

ア 取扱い表示

イ モニタ表示

警告モニタとして冷却水及び真空ポンプ作動タイムに対する警告表示ができ、かつ警報ブザーが鳴るようにすること。また、各ボールコックの開閉状況、揚水・放水の

状況確認のできるモニタ表示、並びにポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計を各々デジタル数値によりモニタ表示ができること。なお、白昼時に視認しやすいように自動調光機能を有すること。

ウ 流水表示

各ボールロックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。

エ 流量及び積算表示

流量範囲によって表示色が変化すること。

オ ディスプレイ操作

ディスプレイ内の各種操作及び表示切換は、手袋装着時でも確実に操作が行えること。

(6) 真空ポンプ操作は非常時には、手動操作にて行えるものとする。

(7) 非常時における真空ポンプ及びスロットル操作は、車両両側に設けられた別系統の手動操作装置にて行えるものとする。(別途協議)

(8) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保するため、次の安全機能を設けること。

ア スロットル固定機能

不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設けること。ただし、固定した場合でも安全方向(スロットルダウン)には操作できるものとする。

イ 自動調圧機能

操作員の負担を軽減するため、自動調圧機能を有するものとし、自動調圧機能の解除については、スロットル操作を行った場合、自動的に解除される構造とする。同時に、ワンタッチにて解除も可能な構造とする。

ウ 高圧中継警報

自動調圧中に中継圧が高く、エンジン回転数をアイドリングまで下げても設定圧まで下げられない時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に警告表示がされること。

エ 低圧中継警報

中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に警告表示がされること。

(9) 非常用圧力計・連成計を車両両側のポンプ操作部付近に設けること。(別途協議)

#### 4 吸水口

吸水口は、消防呼称 75mm ボールロック(ストレーナー付)とし、車両両側に各1個設け、先端には75mmの棒状吸管が取り付け可能な構造とし、ワンタッチ式ツインスター金具を取り付けること。また、75mm×10mの吸管は双方向サイドプル方式とし、スーパーシングルエルボで常時接続、先端に各種水利の媒介金具を取付ける構造とする。(連続呼水装置付)

- (1) 電動吸管巻取り装置（双方向サイドプル方式・スーパースイングエルボ付）は、車体に対して垂直方向にポンプ室後方に配置し、左右どちら側からでも容易に引き出せ、バッテリーメインOFFの状態でも左右どちら側からでもロック及び解除ができる構造とする。なお、吸管的取出しが容易に行えるよう吸管取出し口には金属製の三方ローラー及び巻取り装置下部には金属製の補助ローラーを設けること。また、電動吸管巻取り装置の吸管巻取り速度は一定速度のものとする。
- (2) 吸管巻取り装置の吸管エルボは、ねじれに対応できるようにスーパースイングエルボ式とすること。
- (3) エゼクター装置を設け、連続放水可能な構造とすること。
- (4) 棒状吸管 75 mm×2.5m（ツインスター金具）をボデー天井に4本取り付けすること。

#### 5 放水口

放水口は、消防呼称 65mm ボールコック（レバーは左右とも前方向で「開」とする。）とし、車両両側に各2個設け、前方側は 65mm と 50mm を併用できるマルチコネクターを取付けること。また、各放水口個別の流量を表示するため、流量センサーを放水配管左右に各2個設けること。

#### 6 中継口

中継口は、消防呼称 65mm ボールコック（ストレーナー付）とし、車両両側に各1個設け、65mm の媒介金具を取付けること。（レバーは左右とも前方向で「開」とする。）

#### 7 冷却水

冷却水は2系統とし、それぞれに操作バルブ、清掃が容易に出来るストレーナ及び、通水が目視できるカップを設けること。

### 第9 ホース延長用資機材及び昇降装置

#### 1 ホース延長用資機材

- (1) 車両後部に、ホースカーを取り付けること。
- (2) ホース延長用資機材は電動アシストホースカーとすること。
- (3) 65 mm×20m ホースを、10 本以上積載できること。
- (4) ホースカーの取出し及び収納は、手動にて一人でも容易に行える構造とすること。
- (5) ホースカーの充電はオイルパンヒーターコンセントと併用し、AC100Vで充電できる構造とすること。
- (6) 分岐用媒介金具1個、管そう2本、中継用媒介金具2個の固定金具を取り付けること。  
（詳細は別途協議）

#### 2 電動油圧昇降装置

- (1) 車両後部に、電動油圧昇降装置を取り付けること。
- (2) 電動油圧昇降装置は、ホースカーの展開に十分に耐えうる昇降能力を有すること。
- (3) 電動油圧昇降装置の固定確認灯を取り付けること。

- (4) 夜間操作時に必要な作業灯及びスイッチを設けること。
- (5) 非常時には、手動にて昇降できる手動昇降装置を設けること。

#### 第10 小型動力ポンプ

- 1 動力ポンプの技術上の規定を定める省令のポンプの級（B-2級以上）に該当するものとし、日本消防検定協会が行う試験に合格したものとすること。
- 2 エンジンは、2サイクルエンジンとすること。
- 3 最大出力30KW 規格放水量1.2 m<sup>3</sup>/min以上とすること。
- 4 電子制御燃料噴射式・オルタネーター・無給油式真空ポンプ・オートパワーOFF等最新式の安全装置及び機能等を搭載した小型動力ポンプとすること。

#### 第11 電装品及び警報装置

- 1 ぎ装用メインスイッチを設け、シャシ用メインスイッチと連動させること。また、各スイッチの取付位置は、ぎ装スイッチとし、電気系統の配線は、個別のヒューズ回路によって配線し、各回路の表示を明確にするとともに、点検修理が容易に行えるよう設けること。
- 2 キャブ前方上部に、オーバーヘッドコンソールボックス、運転席と助手席の間にセンターコンソールボックス及びその後部に携帯無線機等を収納するボックスを設け、無線装置一式（外部通話装置付き）、音声合成機能付き電子サイレンアンプ、ぎ装スイッチ（S B W - D 1）等を収納すること。各スイッチには銘板を貼り付けること。なお、音声合成は、右折、左折、後退、渋滞通過、交差点通過等の機能を有し、渋滞通過、交差点通過等のスイッチは、ダッシュボードに設けること。（詳細は別途協議）
- 3 散光式赤色警光灯（標識灯、LED型、スピーカー及びモーターサイレン内蔵）を取り付けること。
- 4 キャブ前面に、赤色LED型点滅灯を左右対称に2個取り付けること。なお、スイッチは、散光式赤色警光灯と連動すること。
- 5 キャブ内に、車両用バッテリー管理機（ずぼら充電器又はC T E K）を取り付けること。
  - (1) 車体側面の支障のない箇所に、マグネット式車外コンセント（丸型）を設け、10mコードを付属すること。なお、扉は容易に開閉しない措置を講ずること。（詳細は別途協議）
  - (2) 車外コンセント差込部は、落下しても容易に破損しないよう措置を講ずること。
  - (3) 車外コンセントを差し込むことにより、オイルパンヒーター、ホースカー、小型動力ポンプ等に電源を供給できる構造とし、通電確認ランプを付加すること。なお、オイルパンヒーターはON、OFFできる構造とすること。（詳細は別途協議）
- 6 キャブ内にインバータ装置（定格1000W・外部電源自動切替器）を設け、100V電源が使用できること。（コンセント数、取付位置等、詳細は別途協議）
- 7 左右ドア内側下方に、ドア開放と連動して点灯する足元灯（フットランプ・LED型）

- をそれぞれ設けること。
- 8 助手席にスイッチ付きフレキシブルマップランプ（LED型）をそれぞれ設けること。
  - 9 キャブ内室内灯（LED）は、助手席上部に1灯、後部座席上部に2灯設けること。スイッチは3段切り替え式（ON、OFF、ドア連動）とすること。
  - 10 車両側面は嵩上げ加工を施し、嵩上げ部に赤色点滅灯及びLED作業灯を左右対称に設けること。なお、赤色点滅灯のスイッチは、散光式赤色警光灯と連動し、LED作業灯のスイッチは、車両後面に設けること。
  - 11 車体後面上部に、赤色点滅灯及びLED作業灯を左右対称に各1個設けること。なお、赤色点滅灯のスイッチは、散光式赤色警光灯と連動し、LED作業灯のスイッチは、車両後面に設けること。
  - 12 車体左右に路肩を有効に照らす路肩灯（LED型）を設置すること。なお、点灯は、スモールライト連動とすること。
  - 13 車体後部左右にサイドマーカーランプ（黄色）を設置すること。なお、点灯は、夜間照明連動とすること。
  - 14 ポンプ計器照明灯（LED型）は、夜間ポンプ運用時において計器の指針及び作動確認ができるように、十分な照度を持ったものを適切な位置に設けること。また、エンジン、ポンプ室照明灯は、点検を実施するために十分な照度を持ったものを適切な位置に設けること。（必要な箇所は、ガード付きとすること。）
  - 15 車体上部左右に、LED型サーチライト（手動伸縮柱、防水スイッチ付き）を設けること。伸縮、旋回及び点灯等の操作は、地上でできること。なお、スイッチを付近の操作しやすい位置に取り付けること。（詳細は別途協議）
  - 16 各ボックスに、ボックス灯（LED型）を設けること。なお、点灯は、シャッター及び扉の開閉に連動すること。
  - 17 車両右側及び車両後面に、AC100Vの防水型2口コンセントを取り付けること。（詳細は別途協議）
  - 18 水損の恐れがある部分の配線及びスイッチには、防水処置を施すこと。
  - 19 スイッチ類には、名称、ON、OFF表示を取り付けること。
  - 20 必要な場所に、コーションプレートを取り付けること。
  - 21 電装品の取り付け及び配線工事は、それぞれの電装品の容量に見合った配線及びヒューズを使用し、ヒューズボックスはぎ装用として独立したもので、ボデーの配線貫通部はグロメット等で保護すること。
  - 22 配線は、次のとおりとすること。
    - (1) 系統別に色分けすること。
    - (2) 配線貫通部には、全てブッシュゴムを取り付けること。
    - (3) ヒューズボックスは専用とし、系統別名称及び容量を記入すること。
    - (4) 機器類付近の接続部は圧着端子とし、端子にはビニールカバーを取り付けること。



(5) 車体外部に露出する配線は防水及び被覆保護のため、ビニールカバー付きとすること。

## 第12 無線機及びAVM

無線機一式（外部通話装置付き）及びAVMは、受注者が既存車両から移設するものとし、移設費用（システム設定を含む。）については受注者が負担するものとする。（詳細は承認図面提出時に別途協議）

### 1 装備構成品

#### (1) 無線装置

ア 無線機本体	1台
イ 無線機本体取付金具	1個
ウ 空中線（ダイバーシティ）	2個
エ 空中線共用器	1個
オ 送受話器（付属品及び取付金具を含む。）	3個
カ 外部スピーカー（車内用1個・車外用防水型2個）	1式
キ アナログ波（防災相互波）	1式
ク 電源配線等、その他付属品	1式
ケ メインスイッチ及び外部切替スイッチ	1式

#### (2) AVM

ア AVM本体	1台
イ AVM本体取付金具	1式
ウ 車外制御器	2個
エ インターフェイスボックス	1式
オ アンテナ	1式

### 2 本体及び付属品

- (1) 無線機及びAVMは市支給のものとする。
- (2) 無線機及びAVMは、助手席及び運転席から容易に操作でき、かつ、運転者の視界を妨げない位置に取付金具で固定すること。
- (3) AVMバッテリー、無線アンテナ及び配線等は、全て新品のものに交換すること。
- (4) 車内スピーカーは、天井部に取り付けること。（詳細は別途協議）

### 3 車外制御器及び送受話器

- (1) 車外制御器は、車外の専用ボックス内に操作性を考慮し取付けること。
- (2) 車体前方左右シャッター内に、送受話器（スピーカー内蔵一体型）、AVM車外設定端末装置を設けること。また、シャッター開放で車外スピーカーへ接続され、不要な時には遮断できるようにすること。（詳細は別途協議）

### 4 車両用アンテナ

- (1) アンテナは、台座を設けルーフ側面に適切な間隔をもって配列よく取付けること。ま

た、無線の電波障害防止の処置を施すこと。(別途指示)

- (2) 配線等を敷設する際には、損傷防止のため配管配線施工し、天井及び側板内に埋設施工すること。貫通部分及び配線止めには緩衝材を用いて損傷を防止すること。また、露出配線は極力最小限とし、貫通部分からの雨露の浸入がないよう防水処理を施すこと。

#### 5 メインスイッチ

メインスイッチは、無線機本体以外に設け、助手席及び運転席から容易に操作できる位置に取付けること。

#### 6 その他

- (1) 無線機はデュアル仕様とし、取付けに伴う車両の改造は、受注者と協議の上、その指示を受けるものとする。また、AVM車載端末の取付け位置を確保し、取付けに伴う配線等で美観を損なわないよう配管施工とすること。
- (2) 本車両の無線機は、既設の「ちゅうおうしょうぼう61」の無線機を積み替えるものとし、識別信号は、「ちゅうおうしょうぼう61」のままとする。
- (3) 本車両のAVMは、既設の「四国中央消防61」のAVMを積み替えるものとし、システム登録は「四国中央消防61」のままとする。
- (4) この仕様書は、大綱を示したもので、施工上必要な部品は完備すること。
- (5) 無線機及びAVMの取り付けは、市の指定する業者において施工させ、納入前に取り付け完了すること。
- (6) 取り付け完了後、電波法に基づき点検を実施し、点検試験成績表を提出すること。

### 第13 塗装及び記入文字

- 1 車体塗装は、完全な防錆加工を施し、プライマー、パテ、サフェーサにより下地処理を行い、十分乾燥させ朱色塗装により3回以上の塗装、磨き、艶出し仕上げを行うこと。塗料は、揮発性有機溶剤(VOC)削減、環境負担物質(鉛など)を一切含んでいない環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料を使用すること。(これと同等以上の方法で塗装する場合は、別途協議し市の承認を得ること。)
- 2 塗装性能は長時間の使用及び塩害(凍結防止剤等)から車体を保護するため、ジーパード防錆処理塗装とする。(これと同等以上の方法で塗装する場合は、別途協議し市の承認を得ること。)
- 3 アルミシャッター部は、朱色塗装とすること。
- 4 アルミ縞板使用部及びホイールは、無塗装とすること。
- 5 車両下回りは、防錆黒色塗装とすること。
- 6 ボデー内部及びポンプ配管は、メーカー標準とする。
- 7 事故防止のため、車体両側及び車体後面に、再帰性に富んだ反射材(シェブロン・マーキング、バッテンバグ・マーキング等)を貼り付けること。(詳細は別途協議)

- 8 ドア又はボックス解放時の事故防止のため、反射テープ（黄色）を貼り付けること。（詳細は 別途協議）
- 9 機器の操作部分には操作ネームプレートを取り付けること。
- 10 市がデザインしたシンボルマークを貼り付けること。（詳細は別途協議）
- 11 文字記入は、丸ゴシックとし、記入する文字は左を起点とすること。

記入文字	文字色	貼付位置
四国中央市消防署	白色反射 (縁取り)	キャブ後部ドア両側
嶺南分遣所	黒色	キャブ灯
消 6 1	白色反射 (縁取り)	助手席側ヘッドライト上部 車両後部
「四国」「中央」「消 6 1」	黒色	キャブ上部 (縦 60 cm×横 120 cmの範囲)
英字表記の所属名・ロゴマーク 等	複数色	車両側面及び後面
積載物品名・積載量・積載重量	白色	後部

(デザイン、位置等の詳細は別途協議)

#### 第 14 特記事項

- 1 本仕様書は車両の特性上、活動面及び安全面を重視し、長期間運用することを前提に考案したものであるため、内容を熟読の上で製作すること。
- 2 納入時に、車両エンジン及び資機材収納庫等の鍵には名称札を取付けた上、メインキー、予備キーあわせて 3 組を納入すること。
- 3 受注者は、市の指定する場所で当該車両に十分慣れるよう技術指導を実施すること。
- 4 受注者は、納入後に旧車両の永久抹消登録（廃棄処分）を実施すること。なお、廃棄に要する費用は受注者の負担とする。
- 5 自動車登録番号は、市指定の番号とする。
- 6 その他、本仕様書に定めのない必要な事項が生じたときは、市と受注者が対等の立場に立ち協議するものとする。

### 装備品等一覧表(嶺南分遣所消防ポンプ自動車(CD-1型))

取付品及び取付装置一覧表

No. 1

No	品名	内容	個数
1	車両機装一式	3 t 級消防専用ダブルキャブオーバー型 4WD、AT	1 式
2	エンジン回転計	シャシ固有のもの	1 個
3	エンジン水温計	シャシ固有のもの	1 個
4	エンジン油温計	シャシ固有のもの	1 個
5	エンジン油圧計警告灯	シャシ固有のもの	1 個
6	エンジンアワーメータ	シャシ固有のもの	1 個
7	電流計/電圧計	シャシ固有のもの	1 個
8	座席シート	超防汚シートカバー (防水加工)	全席
9	サイドバイザー	シャシメーカー純正品 (ステンレス製)	4 個
10	手すりパイプ	ステンレス製	1 式
11	S 字フック	ステンレス製、ビニールコーティング付き	4 個
12	スイッチボックス	大阪サイレン製SBW-D1、リレーボックス付き、10連スイッチ	1 式
13	警告装置	はしご昇降装置、シャッター、ホースカー、小型動力ポンプ	1 式
14	モニター型バックミラー	常時監視カメラ	1 式
15	センターコンソールボックス		1 式
16	シートライザーボックス	後部座席下 (左右側面に扉付き)	1 式
17	車内ルームライト	高輝度 LED (運転席遮光付)	1 式
18	マップランプ	LED 型スイッチ付き、助手席、後部座席両側	3 個
19	空気呼吸器取付装置	幅広マジックバンド呼吸器ホルダー (フック 9 個)	3 器
20	ドライブレコーダー	前後撮影カメラ、GPS ユニット、記録媒体 (32GB 以上)	1 式
21	AC/DC インバーター	1,000W 以上 2 ロコンセント (車内/車外)	1 式
22	消防章	フロントパネル中央部 (樹脂製150mm、台座付き)	1 個
23	フロントグリル	メッキ仕様	1 式
24	アウトサイドミラー	運転席、助手席電動格納式、メッキ仕様	1 式
25	補助サイドミラー	助手席側、メッキ仕様	1 式
26	牽引フック	シャシメーカー純正品	1 式
27	旗立パイプ	旗竿、布旗含む (別途指示)	1 式
28	握り棒	ステンレス製	1 式
29	乗降口アルミプロテクター	シャシに含む	1 式
30	ドア開閉時反射板	3M 製 ドアエンドリフレクター (全ドア分)	1 式
31	手動式アルミパーシャッター	朱色	1 式
32	展開式ステップ	滑り止め・反射テープ・ステンレス	1 式
33	はしご昇降装置	3 連はしご用	1 式
34	天井昇降用展開はしご	展開式	1 式
35	大型収納ボックス	車体上部	1 式
36	バッテリー引出装置	ロック機能付	1 式

## 装備品等一覧表(嶺南分遣所消防ポンプ自動車)

取付品及び取付装置一覧表

No.2

No	品名	内容	個数
37	バッテリー充電管理装置	ずぼら充電器(又はCTEK)、丸形マグネットコンセント仕様 (小型動力ポンプバッテリー、電動ホースカー含む) 通電確認ランプ付き(10mコード付き)	1式
38	オイルパンヒーター	通電確認ランプ付き(10mコード付き)	1式
39	キャブチルト装置	電動油圧チルトロック装置、支持棒、安全装置付き(インターロック機能)	
40	不凍液注入装置		1式
41	各部アルミ縞板	フロントバンパー、左右サイドステップエプロン、車体天井部、 ポンプ操作部(別途協議)	1式
42	後退警報器	シャシ固有のもの	1個
43	泥除けゴム	シャシに含む	4枚
44	車幅灯	LED灯	2個
45	路肩灯	LED灯	2個
46	各収納ボックス内照明灯	LED灯	1式
47	ポンプ計器、ポンプ室照明灯、エンジン灯	LED型(必要な箇所はガード付き)	1式
48	液晶ディスプレイ	ポンプ室左右、ポンプ装置用	2個
49	ポンプ圧力計	100mm丸型、透過光照明灯付き ポンプ室左右各1個	2個
50	ポンプ連成計(リタード式)	100mm丸型、透過光照明灯付き ポンプ室左右各1個	2個
51	ポンプ回転計	デジタル式	2個
52	流量計	デジタル式	4個
53	積算流量計	デジタル式	2個
54	散光式赤色警告灯	NP-ML-VK2M-A2(標識灯・モーターサイレン内臓)	1式
55	標識灯	散光式赤色警告灯内蔵型	1個
56	前面赤色点滅灯	ウィレン製WIONSMBR24(フッソ色:黒)	2個
57	側面赤色点滅灯	ウィレン製 M7FCR24(保護枠付)同等品以上	4個
58	後面赤色点滅灯	ウィレン製M6V2CR24(保護枠付)同等品以上	2個
59	側面作業灯	ウィレン製M7ZC24(保護枠付)同等品以上	4個
60	照明灯	㈱佐藤工業製 SP-Q28SW(伸縮回転式)同等品以上	2個
61	電子サイレン	大阪サイレン製 Mark-D1・TSK-D152(外部スイッチ付き) 電子サイレン用スイッチ、専用マイク(MC-D1L)	1式
62	電動サイレン	自動吹鳴装置付き	1式
63	音声式警告装置	後退・右左折音声警告(防水断音)	1式
64	AVM装置移設		1式
65	無線機移設		1式

## 装備品等一覧表(嶺南分遣所消防ポンプ自動車)

積載品及び付属品

No.3

No	品名	内容	個数
66	可搬式小型動力ポンプ	B-2 級	1 式
67	吸管	超軽量75mm×2m (ツインスター金具、AC金具、吸管バンド4本付)	4 本
68	吸管	超軽量75mm以上×10m (AC金具)	1 本
69	吸水口エルボ	吸管エルボ YONE製スィーベルエルボスーパーシング	1 個
70	吸口ストレーナ	プラスチック製	2 個
71	ワンタッチ式吸管ストレーナー	ワンタッチ取付控綱付、岩崎製作所製ストカゴ、ヒップラー、ガイドロープ(フック付き)、75mm差込オス	2 式
72	異径媒介金具	呼称75ネジメス×ツインスター金具、ツインスター金具×呼称65差込メス	各3 個
73	低水位ストレーナー	岩崎製作所 ウォーターキャッチャーⅢ型 ネジオス×差込オス金具付	1 個
74	吸管まくら木	ゴム製	2 個
75	吸管スパナ		2 丁
76	消火栓媒介金具	呼称75ネジメス×65差込メス (AC)	2 個
77	吸管引揚金具	呼称75ネジメス×65差込メス (AC)	1 個
78	吸管・消火栓金具差込キャップ	65オス (脱落防止チェーン付)	2 個
79	放口媒介金具 (マルチコネクター含む)	65ネジメス×65差込オス 65ネジメス×65/50差込オス (AC)	各2 個
80	中継用媒介金具	自動中継弁ダイレクトバルブ、呼称65ネジメス×65差込メス	2 個
81	中継口ストレーナー		2 個
82	逆延長金具	アルミ製 65×65	1 組
83	ノズル	クアドラフオグノズル	3 個
84	ノズル	YONE ボアテックスノズル	2 個
85	ノズルホルダー	別途協議	2 個
86	特殊ノズル	スーパーピアシングノズル	1 式
87	異径媒介金具	呼称65差込メス×50差込オス	2 個
88	ホース	65mm×20m 1.6Mpa カラーホース 消防本部名入り ※高強度アラミド繊維仕様 同等品以上	30 本
89	ホース	50mm×20m 1.6Mpa カラーホース 消防本部名入り ※高強度アラミド繊維仕様 同等品以上	10 本
90	ホースバック	ホースバックⅡ W50-65 消防本部名入り	10 個
91	ホースバック	ホースバックOFD 消防本部名入り	5 個
92	ホース背負器	ホース背負器 (65mm×3本収納) 鉄製 (内6器はアルミ製タイヤ付)	15 器
93	ホース延長用資機材	ホースカー (電動式)	1 台
94	ホース巻取機	T0-V型 (二重巻き専用)	1 台
95	ホース巻取機	YONE製 ホースマック・ライト (一重巻き専用)	1 台
96	分岐管	マルチ65・50mm併用型	3 個
97	シャットオフボールバルブ	岩崎製作所 21STV50A 21STV65A	各2 個
98	ホースキャッチ	YONE製 同等品以上	4 個
99	スタンドパイプ	単口引上800mm	1 本
100	ホースブリッジ	CB-450	2 組

## 装備品等一覧表(嶺南分遣所消防ポンプ自動車)

積載品及び付属品

No.4

No	品 名	内 容	個数
101	ホース漏水応急バンド	マジックテープ式	20 個
102	消火栓開閉金具 (ストレート)	岩崎製作所 MH75 1010mm	2 本
103	消火栓開閉金具 (菊型)	1000mm	2 本
104	空気呼吸器	ドレゲールPSS7000 (面体FPS7000) ※面体収納袋含む	3 器
105	空気呼吸器用ポンペ	軽量カーボン製 29.4Mpa 90バルブ 3DS 6.8ℓ	10 本
106	熱画像直視装置	FLIR K2	2 個
107	とび口	樹脂柄 JAFCO 1.8m	2 本
108	金てこ	800mm	1 本
109	斧	ライトレスキュー	1 本
110	弁慶	ライトレスキュー・ハリガンツール	1 本
111	剣先スコップ		1 本
112	携帯用拡声器	ノボル電気製 レイニーメガホン、ウエストホルダー付き	1 個
113	LED点滅式車両誘導棒		2 本
114	携帯投光器	ライトレスキュー STRIPE LIGHT	3 個
115	三連はしご	関東梯子製チタン三連はしご KHA-87 搬送用キャスターRFC-075付	1 式
116	発動発電機	Eu9 i	1 機
117	投光器(LED)	LED移動式サーチライト	1 式
118	コードリール	BR-3 (AC100V用)	1 個
119	ボルトクリッパー		1 本
120	絶縁ボルトクリッパー	使用電圧 (7000V以下)	1 本
121	ハンマー		1 本
122	マイティーハンドショベル	折りたたみ式ショベル	3 本
123	警戒区域設定用テープ	「立入禁止・KeepOut」	3 巻
124	スケッドストレッチャー	フルスケッドストレッチャーセット ワンタッチ式バックル SK-200C - OR	1 式
125	山岳救助資器材	背負いバンド (モンベル) ・ネーム入り (四国中央消防 EHIME)	2 個
126	火災救助用耐熱ロープ	スターリン リットレスポンスロープ9mm×30m	2 本
127	収納バック	ベツル BUCKET 25ℓ 黄色	2 個
128	カラビナ	ベツル OKトライアクトロック	20 個
129	救命浮環	小型船舶浮き輪S (P-136K) 救命索15m付 375mm×93mm	1 個
130	救命胴衣	モンベル リバーランナープロ (ブラック) ネーム入り (四国中央消防 EHIME)	3 着
131	脚立 (救助用作業台)	ハセガワ 脚部伸縮式作業台 DRS-2.00-1000(新型番)アルミ足場	1 台
132	応急処置セット	20人用 (創傷処置用)	1 式
133	夜光ベスト	LED自発光式ベスト	3 着
134	携帯無線機ホルダー (肩掛けベルト含む)	株式会社ライズ (Risingベルト&ホルダーセット)	10 個
135	ロードコーン	LEDライト付きハンディ伸縮 (折りたたみ式) オモリ付き (3個)	3 個

## 装備品等一覧表(嶺南分遣所消防ポンプ自動車)

積載品及び付属品

No.5

No	品名	内容	個数
136	矢印板	LED自発光矢印板	1枚
137	車輪止	ゴム製	4個
138	スペアタイヤ	オールシーズンラジアル(スチールホイール付)	1本
139	スタッドレスタイヤ	スチールホイール付	6本
140	タイヤチェーン	スタッドレスタイヤ用(シングルタイプ4本)	1式
141	緊急脱出用チェーン		1式
142	オイルジャッキ	シャシメーカー純正品	1式
143	消火器(ケース付)	A B C粉末6kg入り(自動車用20型) 取付け含む	1本
144	ポンプ工具	グランドスパナ、冷却水用レンチ等(小型動力ポンプ含む)	1式
145	手かぎ		2本
146	燃料携行缶	可搬ポンプ用200ジープ缶タイプ(消防法適用品)	1缶
147	足下マット	シャシメーカー純正品(ラバーマット)	1式
148	ブースターケーブル	大型車両用	1組
149	補修用ラッカー	赤色(スプレー式、タッチペン式)	各2個
150	ネームシール(ラミネート加工)	「四国中央消防」大5cm×30cm・中2.5cm×15cm (横書き) 小1cm×10cm 「新宮分遣所」大5cm×30cm・中2.5cm×15cm (横書き) 小1cm×10cm	各30枚
151	車両整備用機材	ブロワ マキタMUB184DRGX バッテリBL1860B×2本・充電器DC18RF・ケース付	1式
152	車両整備用機材	インパクトドライバー マキタTD172DRGX [青] バッテリBL1860B×2本・充電器DC18RF付	1式
153	地水利調査機材	草刈り機 京セラ エンジン式刈払機 EKM-2300・刈刃×10枚	1式
154	地水利調査機材	チェーンソー マキタMUC254DRGX バッテリBL1860B×2本・充電器DC18RF・ケース付 替刃×5個	1式
155	地水利調査機材	丸のこ マキタHS610DRGX バッテリBL1860B×2本・充電器DC18RF・ケース付 替刃×3枚	1式
156	切創防止用保護衣	ハスクバーナ チャップス	1個
157	搬送用カート	花岡車輛(フラットカート2×4)	2個
158	ジェットシューター		5個
159	タフアクティブ難燃識別ベスト	株式会社ピーシー販売製	10個
160	山岳救助資器材	CAMPイリジウム10.6mm 50m	2本
161	山岳救助資器材	CAMPイリジウム10.6mm 100m	2本
162	山岳救助資器材	テクソーラブラックマンバスリング 2m	4本
163	山岳救助資器材	XモンスターRhino MAX 2m	2個
164	山岳救助資器材	Asuraストライカー	4個
165	山岳救助資器材	Asuraギアコンテナ20	4個
166	山岳救助資器材	エッジガードストレッチ(40×91cm) EM-03-RBP	2枚
167	山岳救助資器材	BARHARエッジパッド大(143cm×83cm) 黒	4枚
168	山岳救助資器材	Nrロープガードワイド	4個
169	山岳救助資器材	DMMパトローラー(レッド) EH300	1個



## 装備品等一覧表(嶺南分遣所消防ポンプ自動車)

積載品及び付属品

No.6

No	品名	内容	個数
170	山岳救助資器材	CMCクラッチ 11mm用	2 個
171	山岳救助資器材	ロックエキゾチカオムニブロック1.5シングルプーリー	2 個
172	山岳救助資器材	ロックエキゾチカオムニブロック1.1シングルプーリー	2 個
173	山岳救助資器材	ロックエキゾチカオムニブロック1.5ダブルプーリー	2 個
174	山岳救助資器材	ペツルアノー80cm C40A80	10 本
175	山岳救助資器材	ペツルアノー120cm C40A120	10 本
176	山岳救助資器材	ペツルアノー150cm C40A150	10 本
177	山岳救助資器材	ペツルアイディS D020AA00	3 個
178	山岳救助資器材	ペツルポーL G063CA00	2 個
179	山岳救助資器材	ペツルベーシック B18BAA	3 個
180	山岳救助資器材	ペツルアッセンション左手用 B17ALA	3 個
181	山岳救助資器材	ペツルフットコード C48A	3 個
182	山岳救助資器材	ペツルグリヨン5m L051AA03	2 個
183	山岳救助資器材	ペツルグリヨン10m L052AA04	2 個
184	山岳救助資器材	ペツルプログレスアジャスト I 1m L044BA00	3 個
185	山岳救助資器材	ペツルアサップロック B071BA00	2 個
186	山岳救助資器材	ペツルアサップソーバーアクセスL L071CB00	2 個
187	山岳救助資器材	ペツルマイクロスイベル P58XS0	2 個
188	カメラ	オリンパス Tough TG-7 メモリーカード (64GB以上) レンズバリア シリコンジャケット ソフトカメラケース USB-ACアダプター	1 式